

令和4年度第4回藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会
会議録（案）

期日：2022年10月27日（木）14時00分～14時42分

場所：藤沢市役所本庁舎3階 3-3会議室（オンライン会議）

出席者（敬称略）：

【検討委員】

渡邊 泰典
藤井 佳世
稲垣 景子
新海 政雄
村上 尚
越 美紀
河内 幸恵
三浦 孝一
澤野 美奈子

【検討部会員】

峯 浩太郎	教育部長
近 尚昭	教育部参事
藤田 健司	教育総務課 主幹
坪谷 麻貴	教育指導課 課長
中村 田	教育指導課 指導主事
宇野 匡	学務保健課 課長
柏崎 浩通	学務保健課 主幹
佐々木 瑞香	学務保健課 主任
神谷 忠良	学校給食課 課長
田中 弘光	学校給食課 課長補佐
鳥生 学	学校施設課 課長
木下 尊人	学校施設課 課長補佐
塩野 充彦	企画政策課 主幹
岡本 竜馬	スポーツ推進課 課長補佐
小野 洋	青少年課 課長補佐
堀田 典久	都市計画課 主幹

【事務局】

浅野 智一	教育総務課 主幹
安西 美知代	教育総務課 課長補佐
根本 慎太郎	教育総務課 主任

角田 祐生 教育指導課 指導主事
時田 裕美 教育総務課

欠席者

【検討委員】

神原 勇人

【検討部会員】

伊藤 雅浩 教育総務課 課長
杉田 弘 企画政策課 主幹
日原 敦史 市民自治推進課 課長
越川 正興 地域共生社会推進室 主幹

【傍聴者】 6人

(渡邊委員長)

第4回藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会を開催する。本日は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点からオンラインでの会議開催となる。議事に入る前に議題(3)藤沢市立学校適正規模・適正配置の実施計画については、審議に関する情報であり、公開することにより、未確定の段階の情報が確定されたものと誤解され、市民の間に混乱を生じさせる恐れがあることから、藤沢市情報公開条例第6条第3号の規定により非公開での審議としたい。

(委員)

異議なし

(渡邊委員長)

異議なしのため議題(3)については後ほど非公開での審議とする。
議題(1)臨時藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会の会議録(案)についてを議事とする。事務局から説明をお願いしたい。

(教育総務課 浅野主幹)

公開資料1 臨時藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会会議録(案)
臨時藤沢市立学校適正規模・適正配置検討委員会の会議録の確認となる。事務局からの説明は以上。

(渡邊委員長)

会議録の内容について修正等あるか。
修正等がないので記載の内容で了承する。
続いて議題(2)アンケート結果(概要)についてを議事とする。事務局より説明を

お願いしたい。

(教育総務課 安西補佐)

資料2 アンケート結果(案) 小中保護者

資料3 アンケート結果(案) 未就学児保護者

資料4 アンケート結果(案) 学校教職員

これからの学校のあり方についての3種類のアンケートのパーセンテージの集計結果を報告する。

資料2をご覧いただきたい。1 アンケート概要、実施期間は9月1日～9月16日に行い、対象者は藤沢市立小中学校へ通う児童生徒の保護者、回答方法はGoogle アンケートフォームまたは紙面での回答もあった。

対象者数27,331人、回答者数7,586人、回答率27.8%となる。前回検討委員会で、対象者を子どもの人数で集計し報告したが、実際には保護者を対象にしたアンケートだったため、学校に対して調査した家庭数を使用し集計した。回答者数についても前回委員会で報告した数字と変わっている。理由として、回答者数は小学校と中学校の保護者としての両方の立場でご回答していただいた方を小学校と中学校の数に足した。

2 アンケート結果は帯グラフで示した。

「通学にはおおよそ何分かかっていますか?」、「どの程度の時間までが通学時間の可能な範囲だと思いますか?」、「基本方針にそって、これからの学校の規模や配置について検討していくうえで、大切だと思うことは何ですか?」の質問には「大切だと思う」から「大切だと思わない」を回答していただいた結果を示している。

P4「1学年あたり、何クラスが理想だと思いますか?」について、小学校は1学年あたり3クラスと4クラスが90%程を占めている。中学校で4クラスと5～6クラスが80%程を占める結果となった。

P5の自由記述のご意見を「学区」から「その他」に分類し、寄せられた件数と意見を抜粋し原文のまま引用した。

前回委員会では円グラフが見やすいという意見が出たが、検討した結果、小学校と中学校の数値の比較がしやすい帯グラフで示した。

資料3は未就学児保護者を対象とし、期間は小中学校保護者と同様の期間、対象者は藤沢市立保育園と藤沢市私立幼稚園協会に加盟している私立幼稚園のうち、ご協力いただいた幼稚園の保護者を対象とした。対象者数6,410人、回答者数1,879人、回答率29.3%、自由記述は小中学校保護者と同様に掲載した。

資料4は小学校と中学校の教職員を対象にしたアンケートで、対象者1,964人、回答者数607人、回答率30.9%であった。

設問は「現在所属の学校の学級数の規模はどのように感じますか?」など、それぞれ小学校と中学校の回答をまとめた。

自由記述欄は小中学校保護者より多く設けていた。寄せられた意見の抜粋を原文のまま

ま引用した。

「小学校/中学校（各属性に応じて）は1学年あたり何学級だとちょうど良いと思いますか？」を問い、理由を書いていた。

適正規模の取組を行っていくうえで、「過大規模校解消のための手法はどう思いますか？」、「小規模校解消のための手法はどう思いますか？」を「そう思う」から「そう思わない」を選択していただいた。

「適正化への取組で重視すべき点は何だと思えますか？」に該当するものを選択していただいた。

自由記述の意見を分類ごとに仕分けし、件数と意見を抜粋した。

前回の臨時検討委員会で校区別や地域から見えてくる特性を分析することについて話があったが、集計には時間がかかるので、まとめ次第、検討委員にはメールでお示しし、HPで公開のためご相談したい。

資料2～4はアンケート対象の保護者と教職員にお礼状としてお渡しする用紙に、市役所HPの2次元コードを掲載し、結果をご覧いただく。

（渡邊委員長）

資料2～4について質疑あるか。

事務局からの説明のとおり、地域ごとの詳細の分析は別途メールか次回検討委員会でお示しいただきたい。

（藤井委員）

公開の仕方を詳細に教えていただきたい。HPでのお知らせは、藤沢市HPのトップページにインフォメーションが載るのか、教育部のページに行って確認するのか。

（教育総務課 安西補佐）

掲載してしばらくはトップページの新着情報に載るが、情報が更新されていくと新着情報から消え、その後は教育のタブから藤沢市立学校適正規模・適正配置に向けた取組に載る。

（渡邊委員長）

そのほかにあるか。

アンケート報告に関しては了承する。

議題2その他について事務局からお願いしたい。

（教育総務課 安西補佐）

次回検討委員会の日程は2023年2月10日（金）午前10時から3-3会議室でzoom会議での開催を予定している。

(渡邊委員長)

公開部分について、委員から共有すべき点はあるか。

(新海委員)

情報公開は広報等で発表はあるか。HP にアクセスするだけの情報公開なのか、広報に載ってコンタクトをとれる方法か。

(教育総務課 安西補佐)

市役所 HP にアンケート結果を載せるということで、現時点では広報にアンケート結果を載せることは予定していない。実施計画(素案)作成時には、パブリックコメントの実施のお知らせを併せて市広報に載せて幅広く市民にお知らせしたいと考えている。

(渡邊委員長)

ほかにあるか。

以上で本日の公開での審議を終了とする。傍聴者のみなさまにはご退席いただきたい。

【以下非公開審議の会議録】

黄色ラインマーカー箇所は要検討事項、要確認事項、次回への引継ぎ事項

以 上